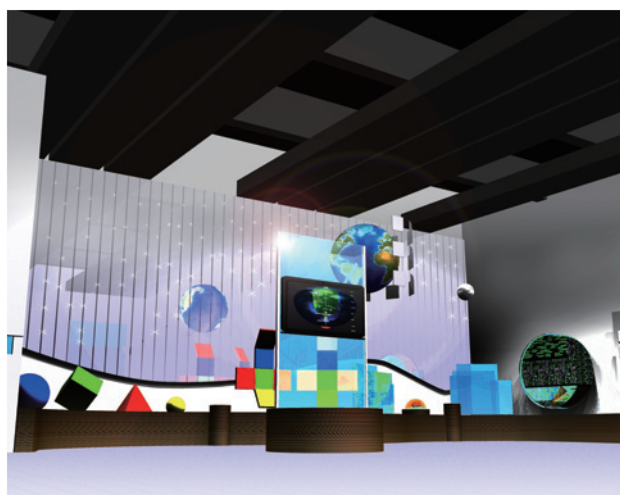


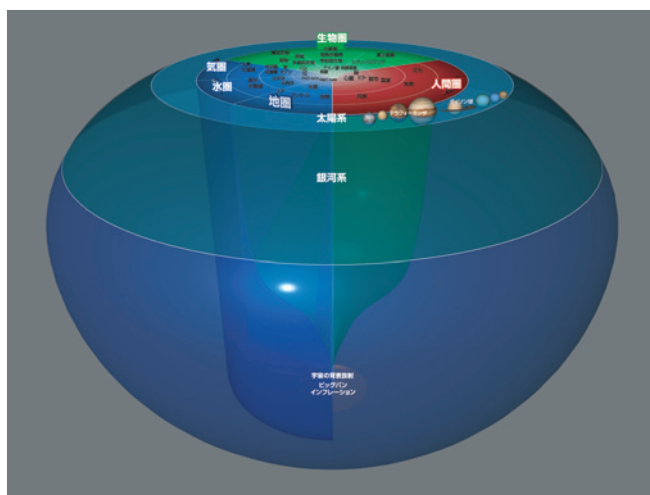
「三井・東芝館 未来構想会議」は、東京大学大学院松井孝典教授を座長に、三井グループ各社から横断的に集められたメンバー14名が参加し、『地球と人間の調和する未来社会』のありかたを科学的に探求する試みとして実施されたものです。三井・東芝館では、その成果を具現化し、ポストショーで紹介します。

■ ポストショーの概要

ポストショー空間では、松井教授が生み出した「21世紀の知のエンサイクロペディア（百科事典）」といえる「新・知求ダイアグラム」を中心に据え、それを取り巻く形で、未来構想会議メンバー14人が創造した『自然と人間の調和のアイディア』がこめられた、14個の地球モデルを展示します。展示全体を通じて、来場者一人一人が、自然と人間の関係を理解し、現在直面する文明の課題をどう解決していけばいいかを、考え始める契機となることを期待しています。



ポストショーのイメージ



松井教授の展示
『新・知求ダイアグラム』

『新・地球ダイアグラム』とは、縦軸にビッグバン以来の137億年のスケール、横軸に137億年の空間スケールが書き込まれている3次元モデルです。これは、現在までに我々人類が獲得した『知』を体系化し、その全体を構造モデルとして表したものです。



■三井・東芝館 未来構想会議 座長 松井 孝典（まつい たかふみ）

1946年、静岡県生まれ。東京大学大学院新領域創成科学研究科教授／理学博士。東京大学理学部地球物理学科卒業、同大学院理学系研究科地球物理学専攻博士課程修了。アメリカ航空宇宙局（NASA）の月惑星科学研究所の招聘研究員などを経て現職。86年イギリスの科学雑誌『Nature』に“水惑星の理論”を発表し、注目を集める。

■ 未来構想会議とは

「三井・東芝館 未来構想会議」は、三井グループ各社から横断的に人材を集め、複雑理工学・地球惑星科学の世界的権威である、東京大学大学院の松井孝典教授をお招きし、先端的・独創的な知見を伺いながらクロス・ディスカッションし、パビリオンテーマ『地球 生命の輝き』－新しい地球を次世代へーを実現するために、＜宇宙・地球・人間の関係＞のあるべき姿をイメージし、＜地球の未来に対して、何ができるか・何をすべきか＞を考え、＜宇宙・地球・人間の調和のアイデア＞を提言することを基本的な役割として設定し、その成果として、それぞれ各メンバーの『未来の地球モデル』を創出しました。これらが、三井・東芝館のパビリオン演出を知的にバックアップする役割を果たします。

■ 未来構想会議メンバー

会社名（五十音順）	氏名
石川島播磨重工業株式会社	塩田 朋彦
王子製紙株式会社	小久保 烈王
三機工業株式会社	長野 晃弘
太平洋セメント株式会社	上川 一真
株式会社東芝	黒部 篤
東洋エンジニアリング株式会社	川内 陽志生
東レ株式会社	久保木 芳秀
株式会社日本製鋼所	米内 敏文
日本ユニシス株式会社	保科 剛
株式会社フジクラ	田辺 信夫
富士写真フイルム株式会社	滝沢 裕雄
三井化学株式会社	吉谷 敏
三井金属鉱業株式会社	阿武 裕一
三井住友建設株式会社	石橋 孝一
（役職・敬称略）	